

富木島

【第276号】

発行 R6. 2. 2
東海市立富木島小学校
TEL 052-601-5311
ホームページ



富木島小

検索

共生社会の実現に向けた取組 ～ボランティア隊による募金活動～

朝会で全校児童に呼びかけました。『やってもやらなくてもいいボランティア隊を募集します』と…。すると、130名の児童が手を挙げて参加の意思表示をしてくれました。このボランティア隊は、**やるかやらないかの選択権が自分のところの中**にあります。自ら考え判断し、決定して行動する『主体性』の育成を目指す教育方針を体現した取組です。

そして、子どもたちに考えさせる力を身に付けさせるため、具体的な指示は意識的に出しませんでした。子どもたちは、自分で考えたり、誰かに相談したりして募金活動に必要な募金箱やチラシを作ってきました。その創造性に感動しました。私たち教師の経験則からでは生み出せない子どもたちの可能性を痛感しました。

とかく、**私たち大人は、『転ばぬ先の杖』を差し出し、子どもたちに失敗する経験や自由に考える経験を奪い、子どもたちの秘めた可能性を摘んでしまっていると思いませんか。**子どもたちに『任せる』ということは、勇気のいる決断なのかもしれません。

しかし、任された子どもたちは、**学年や年齢、経験に関係なく、すごい力を発揮する**ものです。今回の募金活動を通して、そんなことを子どもたちから私は大いに学びました。

校外募金活動の様子が中日新聞に掲載されました！



「能登支援を」学校の外でも

東海・富木島小児童
スーパーで寄付募る



募金を呼びかける児童たち＝東海市富木島町で

能登半島地震の被災地を支援しようと、東海市の富木島小学校の児童が、募金活動に取り組んでいる。26日は、学校近くのパロー上野台店前で来店客に寄付を呼びかけた。

有志の約130人が活動に参加している。16、19日に校内で実施した後、子どもたちから「校外でも集まるのでは」との声が上がった。23日から3日間、パロー上野台店で活動した。児童たちは「能登半島地震の募金をお願いします」と、来店客に大きな声で呼びかけていた。

元日に金沢市の祖父父母宅で被災したという6年生の檜物心菜さん(11)は「地震が発生した時は買い物をしていて、すぐ揺れた。石川県のためにみんなが頑張ってくれてすごくうれしい」と話した。ボランティア隊長で6年生の西江和奏さん(12)は「集めたお金が被災地の方に役立ってほしい」と述べた。校外での募金活動は継続して続ける予定という。(高橋貴仁)

ボランティア隊の活躍の様子 ～校内・外における募金活動～



私たちのところが…

募金という姿に変わって



石川県の復興に役立つ！



相手の立場になって

自分事として考え



『行いで示す』証



損得勘定ではなく、日本人としての『誇り』となる活動に感激！

